

# 協働

## 町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式



開式の様子



表彰の様子



お一人お一人の活動の様子を模造紙で紹介しました。

10月24日（金）、町田市民フォーラム3階ホールにおいて、2025年度町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式を挙行了しました。当日は、学校支援ボランティアの皆様をはじめ、町田市小中学校管理職、VCの皆様方にも多数ご参列いただき、町田市の小中学校と地域の皆様とのつながりの深さを改めて感じることでできる貴重な時間となりました。

今年度の受領者は、個人の部24名、団体の部9団体でした。小池慎一郎教育長から、お一人お一人のこれまでの活動に感謝する言葉とともに、感謝状を贈呈いたしました。スクリーンには、事前に各校から提供いただきました受領者の皆様の地域学校協働活動の様子を投影し、紹介コメントをアナウンスさせていただきましたので、参列者の皆様にとっても、他校での特色ある活動について学ぶ良い機会となっております。また、本年度から教育長挨拶の後、「町田市のCSと地域協働活動」をテーマに新井統括指導主事からスライドを使用しながら、事業説明を行いました。

今回、受領者の皆様を代表して、個人の部では、町田市立町田第二中学校で長年箏曲部をご指導くださっている川田昭美様が、コロナの時の苦難を乗り越えたこと、近隣小学校との合同演奏、日々、部活動の意味や意義に悩み、どうしたら子どもたちのやる気を起こすことができるのか等、これまでのご自身の活動を振り返りながら周囲の方々に対する感謝の言葉を述べられました。そして昨年度、ITを駆使して行った海外交流のこと、子どもたちの可能性の広がりに応えるべく、自らも社会の変化に対応しながら前進できるよう、子どもたちと共に活動していきたいとの決意を述べられました。また、学校や保護者の皆様の協力、子どもたちの頑張りによって改めて感謝の意を述べられスピーチを結ばれました。



団体の部からは、町田第一小学校「お父さんネットワーク」の北村直己様から挨拶をいただきました。お父さんネットワークでは、「子どもと関わる活動は、お父さんが地域に入るためのパスポート」だと考えているそうです。働き方改革や定年延長、自治会未加入等、昨今の地域との関わり方が大きく変化する中で、無理をせず、楽しみながら活動することを第一に、今の時代にフィットして長く活動を続けることを心掛け、結果として、お父さんだけでなく、多くの地域の人たちと関わる事ができているそうです。そして、お父さんネットワークをきっかけに地域へ関わることで、自分の子どもだけでなく、地域の子どもや地域を支えている多くの方とのつながりが生まれているそうです。さらに、子どもの成長に合わせて、大人も学校の枠を越えて連携していくことが大切であり、小学校や中学校、また同じ地域でどんな活動やイベントなどの取り組みがあるのかを知ることが、活動の第一歩だと考えているそうです。改めて、学校が地域や保護者の皆様に支えられていることを認識できました。



ここでご紹介はできませんでしたが、その他にも各学校から推薦された多くの皆様方の支援に対し、敬意を表します。締めくくりは、関根教育委員から閉会の言葉をいただきました。閉会后には、受領者の皆様の記念撮影を行い、ささやかですが、壇上に飾られていたお花を小さな花束にして一人一人にお渡しして、本年度も感謝状贈呈式を無事終えることができました。受領された皆様、ご出席いただいた管理職及びVCの皆様、会場のお手伝いをいただいた有志VCの皆様に感謝申し上げます。

文責 宮島 天利 黒部

